

KANAN Terrace Project

プロジェクト始動のご案内　サマリー版

巨岩と、語り合う。
自分に、還る。

長寿と子宝の島・徳之島の北の端、金見。
悠久の時を見守ってきた巨岩とともに、
日本のこれからのヒントを探すプロジェクト。

> 「愛する島で、自分に還る。」
>
> これが、このプロジェクトのキーコンセプトです。「金見集落を結び、その文化を未来へ繋ぐ」ために、このプロジェクトと、金見集落の既存の取り組みを一体で育てる、面の取り組みです。

OVERVIEW

プロジェクトの概要

場所	鹿児島県大島郡徳之島町金見（徳之島の北東端）。世界自然遺産の森を背に、金見海岸に面する立地。奄美群島国立公園 第3種特別地域。
ヴィラ物件	RC造2階建（平成4年建築）、延床 335.44㎡、敷地 1,854.07㎡（登記簿）。敷地内の花崗岩の巨岩と一体となった建物。客室は全4室・最大定員12名（想定）。
土地物件	金見海水浴場に面した集落内の土地、約996㎡（古家解体・整地済み）。交流の場「カナンのロビー」を構想。
アクセス	徳之島子宝空港から車で約24分。
位置づけ	本資料は、プロジェクトの紹介です。宿泊のご予約・販売は行っていません。

内容は2026年時点の構想で、計画・仕様は今後変更となる場合があります。

PLACE & VILLA

巨岩のあるヴィラと、金見という場所

シンボルロック

敷地に立つ花崗岩の巨岩は、およそ6千万年前に地下深くで生まれました。建物は岩と一体となって建ち、頂にはソテツが茂ります。巨岩は、眺めるだけの存在ではありません。
向き合う場として、滞在の時間に迎え入れます。

ふたつの海を、ひとつの窓から

ヴィラの室内からは、朝日が昇る太平洋と、静かに広がる東シナ海を見渡せます。金見（かなみ）は徳之島の東北端。明治初期の字絵図のまま残る街並みと、史跡があり、集落内は奄美トレイルの一部です。



頂にソテツが茂る、シンボルロック



展望所から望む金見集落と海岸



改修後のヴィラ（イメージ）



金見集落の全景と、2つの物件の位置（右側が海）。位置は目安。国土地理院の地理院タイルを使用。

2つの物件

① **ヴィラ物件**　県道沿い。元ダイビングショップ兼宿泊施設の建物と、巨岩のある敷地です。

② **土地物件**　集落の北東、海水浴場に隣接する海沿いの土地です。

ヴィラの客室（予定・最大定員12名）

スイート

1階 約100㎡／1室／最大4名。リビング・ダイニング・キッチンを備えた広い一室。レストランとしても使える空間を想定。

メゾネット セミスイート

1〜2階／1室／最大4名。階段でつなぐ2層の客室。2階にワークスペース。

スタンダード

2階 約35㎡前後／2室／各最大2名。海に面した客室。部屋をつなげて使うこともできる。

体験と活用（構想）

- 巨岩を取り込んだサウナ／岩を望むプールテラス
- ガストロノミーツーリズムの拠点（シェフの滞在、集落の人との料理教室）
- 離島ラグジュアリーツアーの拠点、1棟貸し

土地物件「カナンのロビー」（構想）

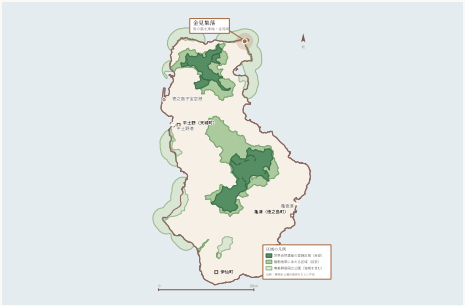
- 管理棟（事務所・カフェ・物販・シャワー）
- オープンパーク（マルシェ、キャンプなど）
- 休憩・遊びの場

ISLAND & VILLAGE

舞台は、長寿と子宝の島・徳之島

徳之島は、奄美大島と沖縄のあいだに浮かぶ、世界自然遺産の島。出生率が全国トップクラスの子宝の島であり、長寿の島でもあります。島に根づく結の精神が、暮らしの中に息づいています。

金見では、カナンあまちゃんクラブをはじめ、住民による活動が続いています。ヴィラは集落の静けさを守り、土地はにぎわいを生む場とします。



徳之島の位置。出典：OpenStreetMap、環境省の公園計画図をもとに作成した略図。位置・区域は目安です。



天城岳の森　撮影：Asset utilitist（CC0）



角を突き合わせる闘牛（闘牛場）



島の食材を使った料理

強みと、向き合う課題

強み・機会

- 世界自然遺産登録、国立公園内
- 奄美トレイル全線開通
- 手つかずの自然と絶景、史跡

向き合う課題

- 交通アクセス
- 空き家・空き地が多い
- 道が狭く、利便施設が少ない

事業の進め方

STEP 01　構想・受け入れ基盤（進行中）

ヴィラ物件と土地を確保し、改修計画を策定中。

STEP 02　現地視察・意見交換（ご案内中）

パートナー候補・金融機関に、現地をご覧いただいています。

STEP 03　協業・資金スキームの具体化

運営会社と保有会社を分け、事業の黒字を集落に還す仕組みを設計します。

地元自治体、住民の皆さま、金見で続けられてきた取り組み（カナンあまちゃんクラブ、金見荘、とうぐらなど）と協業して進めます。すでにあるものを活かし、つなぎ、育てていく考え方です。

協業を検討している4領域：飲食店との送客連携／食の体験価値／調査・研究／地域連携。

事業パートナー募集・お問い合わせ

事業パートナー候補の企業、金融機関、自治体の皆さま。現地視察のご相談をお待ちしています。収支・資金計画・出資の構成などは、面談で個別にご説明します。

メール：info@kanan-terrace.com　／　Web：https://kanan-terrace.com

宿泊のご予約・販売、お客様の募集は行っていません。CGは、構想段階のもので、設計は確定していません。内容は2026年時点の構想で、今後変更となる場合があります。